

令和4年10月17日（月）
八潮市
国土交通省関東地方整備局
北首都国道事務所

記者発表資料

(仮称)外環八潮スマートインターチェンジ 連結許可書の伝達式を開催します

国土交通大臣より常磐自動車道（東京外環自動車道）と市道外環八潮スマートIC内回り線及び市道外環八潮スマートIC外回り線との連結が許可されました。

このたび、北首都国道事務所長から八潮市長へ「(仮称)外環八潮スマートインターチェンジ連結許可書」の伝達を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

記

日時：令和4年10月20日（木） 16:00～16:30

場所：八潮市役所 3階 第2応接室

出席者：八潮市長

国土交通省 北首都国道事務所長

東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、開催します。

報道機関の皆様へ

「連結許可書の伝達式」への取材を希望される方、およびスマートインターチェンジに関することにつきましては、以下の問合せ先までご連絡をお願いします。

取材を希望の方は、10月19日（水）17時までに下記八潮市の問合せ先まで連絡をお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、マスクの着用、会場入り口での検温、手の消毒等の感染対策にご協力願います。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、越谷記者クラブ

お問合せ先

【伝達式に関する問合せ（取材登録）・(仮称)外環八潮スマートICに関する問合せ】

八潮市 都市デザイン部 都市計画課

課長 山口 雅則（やまぐち まさのり） 副主幹 安西 伸一郎（あんざい しんいちろう）

住所：埼玉県八潮市中央1-2-1 電話：048-996-3904（直通）

【スマートインターチェンジ事業全般に関する問合せ】

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所

副所長 川路 隆之（かわじ たかゆき） 計画課長 永瀬 薫（ながせ かおる）

住所：埼玉県草加市花栗3-24-15 電話：048-942-4041（代表）

スマートインターチェンジ新規事業化箇所の新規事業化箇所の整備効果

■東京外環自動車道 外環八潮スマートIC(仮称)

<概要>

- 路線名 : 常磐自動車道(東京外環自動車道)
(草加IC~外環三郷西IC間)
- 設置場所 : 埼玉県八潮市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向(4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 地域産業の活性化

- 外環八潮スマートICの整備により、工業団地から東京外環自動車道へのアクセス性が向上し、輸送の利便性向上による業務効率化や地域産業の活性化が期待される。



※実走調査は、令和3年12月及び令和4年2月に実施し、時間帯はいずれも平成27年度全国道路・街路交通情勢調査におけるピーク時間帯の17時台整備後の所要時間は、工業団地から外環八潮スマートIC(仮称)予定位置までの走行時間と予定位置から隣接ICまで東京外環自動車道を走行した際の時間を加算して算出

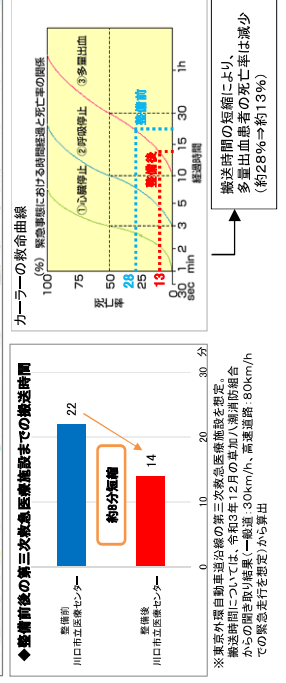
整備効果 救命救急体制の強化

- 外環八潮スマートICの整備により、市内団地から東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設までの搬送時間が約8分程度短縮され、搬送先の選択肢が増え、救命救急体制の強化が期待される。

【市内団地から近隣第三次救急医療施設への搬送ルート】



【凡例】
 赤線: スマートIC整備後ルート(八潮SICを利用)
 青線: スマートIC整備前ルート(一般道を利用)



救命救急体制の強化が期待される。搬送時間の短縮により、多量出血患者の死亡者数は減少(約28%→約1.3%)

スマートインターチェンジの検討・整備について

- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。

